

## 生き生きネットワーク会議



# 青少協だより

2012年9月

田迎校区  
青少年健全育成協議会  
発行

地域の皆様へ  
田迎小学校 P.T.A会長  
松島 雄一郎



本年度、田迎小学校P.T.A会長を務めさせていただいております松島です。

最初にP.T.A役員を仰せつかった二年前、まず驚いたのが、子どもたちの育成のために、地域の方々からとても大きなご支援を頂いている事でした。同時に、その事実を知らぬまま子どもたちを学校へ通わせていました。

「子どもは地域の宝」という言葉を耳にしますが、それを実践して頂いている皆様には、感謝の言葉しか思い当たりません。来年度の小学校分離をひかえ、様々な難しい問題も出てくると思いますが、この地域の皆様と力を合わせることができれば、どんな高いハードルも越えられる気がいたします。ただし、そのためには保護者の自覚と行動が必要なことは、無論肝に銘じております。今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

## 青少協の誕生

### 平成24年度事業計画

- あいさつ運動（毎月1日 田迎小・15日 託麻中）
- 地域パトロール 登校時あいさつ運動
- 環境浄化推進
- 第6回プレイパーク（12月15日 田迎2丁目公園）
- 幸田夏祭り（7月お化け屋敷）
- 地域研修（9月）
- 託麻中 生き生きネットワーク会議（6・11・3月）
- 託麻中 中学生地域交流推進事業
- 校区青少協だより発行（9月・3月）

昭和40年代後半になると、青少年の問題行動は貧しさを原因としたものから、豊かさの中でも「社会に反抗する青少年の姿」を想像させるものが増え、続け、その内容も複雑化、広域化してきました。さらに50年代になると、青少年を取り巻く環境が急激に変化してきました。核家族化や少子化（兄弟姉妹数の減少）の増加とともに、不良図書自動販売機や成人向け娯楽施設が次々と出現。交通量の増加に伴う交通事故の多発、宅地化の進展に伴う空き地（遊び場）の減少も目立つようになりました。家庭内暴力や校内暴力がマスコミをにぎわしたのもこの頃です。

このような時代の変化の中で、従来の補導活動を中心とした青少年対策から、健全育成活動に重点を移した総合的な青少年対策が求められるようになりました。昭和四十七年七月、市教育委員会に青少年課（社会教育課より分離独立）が新設されました。

これに呼応して翌四十八年七月には、「地域に密着した、学校・家庭・地域社会が一体となつた青少年育成活動を展開しよう」と白川中学校校区青少年健全育成協議会（守尾邦季会長）が結成。これが熊本市における校区協議会の第一号です。

昭和四十九年八月十七日、田迎校区公民館活動の一環として文教部（平野秀雄会長、後に田迎校区青少年健全育成協議会に改組）が発足されました。

## 冒険遊び場（プレイパーク）ってなに？



自分の責任で  
自由に遊ぶ！

子どもが自由に遊ぶためには、「事故は自分の責任」という考え方方が基本です。そうしないと禁止事項ばかり多くなり、楽しい遊びができなくなります。みんなの協力で楽しい遊び場を作りましょう。

### 田むかえプレイパークの思いで

田むかえ小2年 青山 はるか

ともだちと田むかえプレイパークに行きました。さいやしょに、パンを作りました。あつあつにじょうずにやけました。食べずにもつてかえったら、おかあさんに食べられました。でも、「おいしい！」と言つてくれたので、うれしかつたです。つぎに、ブーメランを作りました。ブーメランはとおくまでとんでもありました。ともだちときようそうしてあそびました。たのしかつたので、こんどのプレイパークもたのしみです。

### プレイパークに行つたこと

田迎小3年 西田 なおや

ぼくは、プレイパークに行きました。

ゆうだいくんとダンボールで小さい家を作りました。子ども二人が入れる大きさです。一回入つて外に出て、外からダンボールに星の形のあをあけてまた入ると、日かけに星の形の光が入っていました。きれいでした。ほかに、パンを竹にまいてやくのや、ながしそうめんや、わりばしでつぼうを作るのがありました。前にも作ったことがあるけどまた作りました。ゴムをとばしてあそびました。楽しかつたです。また行きたいです。